

地域おこし協力隊活動実績報告書

隊員氏名： 永尾 俊晴

- ・活動期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日
(委嘱日：令和4年9月1日)

1. 隊員の活動テーマ

活動テーマ	定住促進 ※共通
より具体的なミッション	地域資源の付加価値向上 1. 地域資源を生かした商品の開発 2. 地域資源のPR

2. 活動の検証

(1) 定住促進への直接的効果

移住等の相談を受けた件数	3件 (3人)
移住希望者に現地案内などの活動を行った件数	2件 (2人)
うち移住につながった人数	件 (人)
うち移住につながる可能性のある人数	2件 (2人)
具体的な相談の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・11月に企画した茅刈イベント「カヤ・キャン美山」へ参加した男性2名と一緒に美山町で茅刈を体験しながら、南丹市の文化や自身の移住経験についての紹介、およびかやぶきの里の案内を行った。その後も何度か南丹市を訪れているとお聞きしている。(2名) ・地域おこし協力隊選考に興味がある、現協力隊同期の知人より、南丹市での移住や仕事についての相談を受けた。(1名)
今後の展開や展望または反省点など	<ul style="list-style-type: none"> ・かやぶき文化・集落文化について研究を進めている学生からインタビュー依頼があった。また京都移住コンシェルジュや美山観光まちづくり協会の依頼での取材に対応し、WEBメディアでの移住体験の発信にも繋がった。 ・11月末～12月頭にかけて開催したイベント「カヤ・キャン美山」は、事後アンケートでも満足の声が多く、地域行事である茅刈や、茅葺体験・しめ縄づくり体験などの伝統事業のワークショップを通

	<p>して、全国各地から参加した参加者の方々に美山町の文化と暮らしの魅力を中心に伝えることができました。また運営を手伝っていただいた10数名の京都市内の学生ボランティアスタッフの方々からも、地域住民との交流が貴重な経験になり、また美山での活動に参加してみたいといった声をいただくことができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域外ファンづくり事業として「知井交流団体 SATOYAMA」のイベント企画に携わった。年3回、20名近くの大学生が、炭焼き・水車精米・茅葺きなど、美山町の様々な手仕事体験と合わせて、かやぶきの里保存会の会長の講演など、頭と身体を使ったフィールドワークに学びを深めていただくことができました。 ・地域内の同世代（20代）との交流会を複数回開催することができた。個人事業を行う方、Uターンで教育や観光に従事する方、観光協会や観光事業者に所属している方など、様々な経緯と想いで美山に関わりを持っている若者が集った。
--	--

(2) 具体的な活動について

活動を展開した地域数と名称	<p>地 域 数：10地域 地域の名称：(美山町安掛、美山町中、美山町豊郷、美山町下、美山町今宮、美山町内久保、美山町板橋、美山町下吉田、美山町北、美山町大野)</p>
移住者受け入れや地域振興への意識が高まったと思われる地域数と名称	<p>地 域 数：4地域 地域の名称：(美山町安掛、美山町中、美山町今宮、美山町下) ※具体的な新商品企画に繋がった地域資源がある地域</p>
今後継続的なアプローチにより意識が高まる見込みの地域数と名称	<p>地 域 数：10地域 地域の名称：(美山町安掛、美山町中、美山町豊郷、美山町下、美山町今宮、美山町内久保、美山町板橋、美山町下吉田、美山町北、美山町大野)</p>

活動内容	現在の課題	期待する成果・展望
<p>地域資源を活用した新商品企画 (美山町安掛「みやま堂」を商品企画拠点として活用)(美山町中:里山弁当) (美山町豊郷:しめ縄商品、桑の葉茶) (美山町下:さつまいも菓子、美山木炭商品)(美山町今宮:蕎麦粉)(美山町内久保:美山山椒商品)(美山町北:米粉商品、黒豆珈琲)</p>	<p>新商品企画においては、コスト面や目標設定について、作り手とより協議の場を増やしながらか、推進していく時間が必要。商品開発後の中長期的な課題としては、原料生産および加工の後継者育成を考慮した、継続的な生産計画の策定があげられる。</p>	<p>南丹市の現在活用されていない地域資源を加工・商品化することで、地域に潜在的にある魅力的な文化や特産が、若い世代に持続可能な形で引き継がれていく流れをつくること。</p>

活動内容	現在の課題	期待する成果・展望
地域資源を活用した商品の、販売促進計画・SNSなどを通じたPR活動 (美山町安掛：野草茶、蜂蜜、美山牛乳)(美山町豊郷：黒米商品、かきもち・さんけらもち等の郷土食)(美山町下吉田：味噌)(美山町板橋：柚子胡椒)(美山町北：そば茶)(美山町大野：美山茶)	地域外の販売事業者へ紹介した際の、生産予定数量と販売希望数量のミスマッチ。また、販路に合わせた賞味期限やパッケージデザインなどのニーズへの対応が求められる。	より多くの地域内外の消費者に商品の魅力を知り、体験していただくことで、地域全体の知名度向上や地域資源についての理解が深まること。

3. 活動表

活動年	実績・効果、目標
1年目	<ul style="list-style-type: none"> ・目標「地域資源と地域活動への理解を深め、多くの事業者と知り合う」 ・活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・南丹市にどのような地域資源があるか、集落支援員や振興会のご協力をいただきながら、買い物・ヒアリング調査を行った。 ・声が上がった地域資源についての活用方法を考案した。 ・最初の商品企画として、美山町下集落等で栽培される「さつまいも」と美山町内久保集落の「美山山椒」を組み合わせた“京都美山かやぶきけんぴ 美山山椒”などの商品開発を実施。 ・その他にも、美山町鶴ヶ岡特産の黒米餅・とち餅を、美山町下の美山木炭で焼きもちにして販売する「里のごほうびぜんざい」、美山町中の弁当店と市内の素材を使用した季節替わりの「里のごほうび弁当」など、商品企画およびテスト販売を行った。
2年目	<ul style="list-style-type: none"> ・目標「地域資源を活用した商品のPR、および新商品企画の促進」 ・活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・美山町安掛に立ち上げた「みやま堂」を商品企画拠点として活用しながら、作り手と相談を重ね、下記のように各地の地域資源を活かした商品企画を行った。(美山町中:里山弁当)(美山町豊郷：しめ縄商品、桑の葉茶)(美山町下：さつまいも菓子、美山木炭商品)(美山町棚：大豆菓子)(美山町内久保：美山山椒商品)(美山町北：米粉商品、黒豆珈琲) ・商品開発した商品および地域事業者の既成商品を、プロのカメラマンに撮影いただいた生産風景とともに、SNS等を通して情報発信。さらに、東京と大阪のバイヤー向けの展示会への出展や、京都市内店舗でのイベント出展を行い、販路開拓につながるような人脈形成、およびPRを行った。

活動年	実績・効果、目標
3年目	<ul style="list-style-type: none"> ・目標「地域資源を活用した地域の名物商品が、より多くの地域から生まれ、各地域内での地域資源生産活動が活発な状態をつくる」 ・活動内容 <ul style="list-style-type: none"> ・活動の認知が広がったことにより、他所から依頼を受けながら、新商品企画および商品のリニューアルを各地で展開。観光客が各地域の名物を体験できるように、手仕事にまつわるワークショップも10件近く企画を行った。 ・美山町各所の事業者を巻き込み、20代の若者を中心に集落の伝統行事である「茅刈」を、地域外の参加者を募り、体験できる形で開催を行った。 ・南丹市内に存在する地域資源の本質的な価値や魅力に、市内外の若い世代が積極的に興味を持ち、関わっていくまでの道筋ができるよう、同世代の若者交流会を開催し、人脈を広げることができた。 ・現在、各資源および商品生産の後継者育成も視野に入れた移住者の呼び込みを行えるように、関係人口創出の拠点となる民泊ゲストハウスの開業に向けて準備を進めている。
任期後に得たい成果・変化（自分自身・地域・関係者）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内外で地域資源の消費量が向上し、地域資源を目的に来訪する観光客が増えるように、地域の事業者とより連携しながら、新しい商品および体験の企画に努めたい。 ・地域資源を活用した新商品を地域の事業者とともに企画し、販売先とのマッチングも行っていくことで、地域商社のようなビジネスとして自立させたい。